

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等	目標の内容・実績		
【法人名】 公益財団法人 埼玉県国際交流協会	目標	外国人総合相談センター埼玉における相談実施件数	グローバル人材育成センター埼玉を通じた就職マッチング件数 多文化共生・国際交流ボランティア等登録者数
		外国人総合相談センター埼玉の利用増を図る	日本人留学経験者や外国人留学生の就職支援を行う ボランティアの活用による外国人への支援、国際協調の推進を図る
		【令和4年度目標】 6,000件	【令和4年度目標】 1,100件
【中期経営計画の期間】 令和4年度～令和6年度	各年度の実績	【令和5年度目標】 6,200件	【令和5年度目標】 1,300件
		【令和6年度目標】 6,400件	【令和6年度目標】 1,600件
		【令和4年度実績】 6,224件	【令和4年度実績】 1,069件
	法人による自己評価	【令和5年度実績】 5,739件	【令和5年度実績】 1,433件
		【令和6年度実績】 5,973件	【令和6年度実績】 1,669件
		令和6年末の埼玉県の在留外国人数は26万2,382人と過去最高を記録した。在留資格や帰化等の相談が件数として最多となっているほか、令和5年度と比較して、事件・事故に関する相談が増えている。また、日常生活での困りごとなど、ぐらしに関する相談も増加している。令和7年度も相談窓口の周知に努め、引き続ききめ細かな相談対応を行ってまいりたい。	埼玉労働局などが開催する就職説明会に連携して事業を実施するとともに、オンラインを活用した会社説明会を開催し、外国人留学生と県内企業とのマッチングの機会を増やし、目標件数を達成した。令和7年度以降は事業スキームの変更によりマッチングは行わず、大学における外国人留学生の就職支援体制の強化や県内就職に向けた気運醸成に取り組んでまいりたい。
		通訳・翻訳ボランティアの登録を受け付け、依頼に応じ法律相談や病院診療時の通訳に登録者を紹介した。35言語の登録があるが、希少言語の登録者が少ないと課題となっており、HP、メールマガジン及び協会広報紙により随時募集を呼びかけたほか、世界へのトビラ講師に通訳・翻訳ボランティアへの登録も促すなどして登録者の増加に努めた。 世界へのトビラ講師やホームステイボランティア登録家庭についても、様々な機会を捉えてPRIに努め登録者を増やしてまいりたい。	